

行仙宿小屋に雨戸設置のための下見と採寸など

◇実施日：2020年6月24日（水）晴

◇参加者：沖崎吉信、松本吉殖、畑林秀味、梶野照雄、

4名

最近玉岡さんとお会いする都度、小屋の事や5年後、10年後の山彦のことなどの話が主になっている。

一ヶ月くらい前にはわざわざ拙宅まで足を運んでこられて以下の話があった。

◎地蔵岳のクサリ場のこと

◎行仙宿雨戸設置のこと

◎持経宿不動堂と行仙宿お堂聖徳太子像のこと

◎現活動も徐々に行政移管のこと

常に大峰のこと、山彦のことを気にされているようだ。

大変なご苦労をされてきたので、出来ることから応えたいと思っ
っている。

雨戸については松本板金さんに話をしていたが、早速24日に行こうとの連絡を頂いた。当日8時、畑林秀君も同行し出発。モノレールを使って10時半少し前に小屋に着く。

早速検分、採寸を行う。現場を見た松本さんから、シャッター式の雨戸がベストだろう、と提案があった。後日サツシ店に出向き、現場の状況を説明してアドバイスを受けるとのことだった。



登山口水場は健在 雨戸を付ける予定の窓 不用品を持ち降ろす

雨戸の設置には足場が必要になるため、工事は複数に分けるか、一泊二日で行うかになるようだ。

昼食を摂っていた11時半ごろに梶野君が到着し、以後2時間ほどおしゃべりして、午後1時半に下山した。倉庫を整理し、不要物を集めて持ち降ろした。

(記：沖崎 写真：梶野)

行動タイム

08：00新宮→10：25行仙宿13：30→14：06登山口